

東海大学経済学部ゼミで自衛隊を紹介

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、7月16日（木）、東海大学政治経済学部経営学科専攻（神奈川県平塚市）の3・4年生30名に対し、「自衛隊の概要説明」と題し講話を行った。この講話は、自衛隊の事を知りたいという学生の要望と教授の依頼で実現した。

講話では、自衛隊の近況と日本を取り巻く安全保障環境及び国際貢献活動の状況、自衛隊の編成・任務、隊員の生活状況などの説明を行った。特に、質疑応答では多くの質問があり、「自衛隊には、自分の適性にあった幅広い多種多様な職種があり、ニュースなどで入る情報とは違う実情が判り、非常に興味が沸いた」などの感想が聞かれた。また教授からは、「今後も、定期的に学年を問わず講話をお願いしたい」との話もあり、成果があったと感じている。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊の紹介の場を設け、自衛隊を正しく理解していただき、将来一人でも多く自衛官を志願してくれることを期待したい」としている。



学生に自衛隊の概要説明をする平塚所長

職業理解ガイダンス

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、7月14日（火）、三浦学苑高等学校（横須賀市）で行われた、「職業理解ガイダンス」に参加し、募集広報活動を行った。

この催しは、2学年で進路を決定するにあたり、「どんな仕事があって、自分にはどんな仕事に向いているのか」などの職業に関する理解を得ることを目的に、行われているものである。

22の分野の講師・教室が用意され、自衛隊の教室には11名の生徒が集まり、自衛隊の概要についての説明を熱心に聞き入っていた。中には親族に自衛官がいて志望意欲のある生徒や、福利厚生について具体的に質問する女子生徒もいた。

横須賀地域事務所は、「今後も、より多くの高校生に自衛隊の仕事について知ってもらい、自衛官という職業が選択肢のひとつとなることを期待しつつ、積極的に募集広報活動に取り組んでいく」としている。



説明会の様子